

江戸時代の大福帳を現代に復活させるプロジェクトがスタート

～「書いて」残すための最適なノートを目指して～



株式会社国宝社、株式会社共生社および株式会社ノウトは、3月5日より、クラウドファンディングサイト「Makuake」にて、『江戸商人の命「大福帳」を現代の洗える紙と伝統的な和綴り職人の技術で復活させたい！』というプロジェクトにチャレンジします。

(詳細) 江戸時代、こんにやく粉などで和紙に防水処理を施し、火事の際には真っ先に井戸に放り込んで逃げたというほど、商人にとって重要な台帳であった大福帳。これを、クリーニングのタグに使用する「耐洗紙」という洗えるタフな紙、そして100年続く製本工場に脈々と受け継がれる手製本技術によって、現代に復活させるべく立ち上がった、上記3社でのプロジェクトとなります。

仕事のほとんどをパソコンで行うことも多い中、今後、現代人にとって守るべき最も大切なものは何か、それを書いて安全に残すために最適なノートとは？それを考えたときに、江戸商人が命懸けで守った大福帳こそが、ひとつの解ではないかと思い、開発を始めました。耐洗紙が和紙と同じ保存特性に優れたPH7の中性紙であったことも幸いし、サンプル作成までは順調に推移しています。

手製本を国宝社、洗っても落ちない特殊印刷を共生社、デザインをノウトがそれぞれ担当。通常タイプの「大福帳」という筆文字に加え、ピクセル柄、エンボス柄など、現代的な表紙も加え、4柄各3サイズでの展開を予定、クラウドファンディングで支援者様の声も聞きながら、改良を加えた後、最終的に一般発売を目指します。

Makuake ウェブページ：

<https://www.makuake.com/project/daifukucho/>

【お問い合わせ先】

名称：株式会社ノウト（「新しい文具製作委員会」広報担当：高木芳紀）

住所：東京都府中市小柳町2-43-17 電話：090-5324-1217 E-mail：info@nouto.co